

一般質問

6月
定例会

町長の姿勢

旧両町の歴史を大切に

特色を捉えたまちづくり／町長



議員 昭三 矢野

く、道路改良等について問う。

答

大西町長

① 気候や、風土など生活条件の違い、異なる行政区として長い歴史があり、それぞれ違いがあつて当然と考えている。

黒潮町という感覚を醸成し地域特色を捉え建設する。

先人も苦勞し、町づくりに取り組んできた。私たちも同様に努力して町づくりに努めていきたい。

② 国の見直しは秋頃になり町は回答できない。しかし避難道路等の見直し十箇所ほど測量、本部体制の見直し、住民への周知を図りたい。

資料の収集など早急に取り組む。

③ 住宅は利便性が求められ、現状では高台への移転は難しい。

④ 地域の状況を十分確認し区長、受益者の意見を聞き、県へ伝え取り組む。

⑤ 6月～7月幡多土木、幡多林業事務所が町と一緒に現地調査を実施する。要望に沿えるよう努める。

⑥ 治水上支障となる箇所、緊急度の高い所から県へ要望。

有井川は本年度河床の掘削工事を行うと聞いている。

⑦ 黒潮一番館、出合いの里、様々なところで教育旅行、一般団体の誘致をしている。

また建設中の特産品加工場で体験観光が可能であり、出来る所からやっていきたい。

⑧ 新規就農者支援、漁業用冷蔵施設、カツオブエア支援、除間伐支援、町内業者優先発注、プレミアム商品券等の支援策に取り組んでいる。

⑨ 消防署からも要望を受けた。部分的な改良により住家までの距離が短縮出来る所をピックアップし線形など検討中、早急な対応をしたい。

問

① 旧佐賀町・旧大方町は多くの先人が苦勞を重ね町づくりに努めて来た。気候風土など生活の条件が少し違うため町づくりの方法に違いがあったと考えるが、それぞれの違いを認め合つて、町づくりに努めるべきと考えるが、所見を問う。

② 地域防災計画の見直し日程を問う。

③ 住宅地は高台にすべき考えを問う。

④ 急傾斜地崩壊危険区域が

1 集落に数区の場合がある。町は受益者負担を軽減するため指定区域を見直し要望を行うか問う。

⑤ 人家上の町有林の落石対策など急傾斜地工事や治山工事を行うか問う。

⑥ 県管理河川、伊与木川、有井川等の堆積土砂や葦等の管理要望を問う。

⑦ 農作物の単価が下落。生産原価を下げる事は難しい。都市部の人々に農業観光の誘致が出来ないか問う。

⑧ 雇用の場所を確保するには町内にある一次・二次・三次産業を大切に育成する事が重要である。今後の施策について問う。

⑨ 救急車が国道から遠隔地にある人家へ行けない。山間僻地で生活する人々は永年、町の発展に尽くしてきた人達だが、その人々の生活は厳し

い。

